

市川JC

[千葉]

現役をサポートし、地域の発展に寄与 卒業20年のメンバー祝う「盛人式」も開催

市川

J.C.シニアクラブは、現在、約200名のメンバーを擁し、第5代の斎藤紀幸会長を中心として、会員相互の親睦を第一に、後輩である現役の活動をもサポートしています。会員の多くは、市川商工会議所片岡直公会頭をはじめ、地域の政財界で大いに活躍をしています。

私たちの住む市川市は、国指定の史跡が多く分布し、また、『万葉集』には「葛飾の手鬼奈の伝説」が詠まれているように、古くから歴史の舞台となってきました。また近年では、東京都心に隣接しながらも緑や水辺の自然環境に恵まれていることもあり、多くの文化人の住まう46万人の都市でもあります。

昨年は、第40代の内浦浄信理事長がそのリーダーシップをいかに発揮し、記念事業のミュージカル「家族ある夏の出来事」の公演を企画。3000名以上の方にご来場いただき、「市川らしさ」を最大のテーマとした記念式典、祝賀会「〜十六夜（いざよい）の宴（うたげ）〜」を開催しました。

市川JC創立40周年という節目に際し、30年以上の友好関係を



①創立40周年式典にて。歴代理事長の登壇 ②「盛人式」で飯沼、鈴木両先輩 ③総会懇親会 ④ゴルフ大会。スタート前は笑顔でしたが…。

続ける姉妹JCの台湾・埔里国際青年商会の馬長風会長一行をはじめ、各地のLOMの皆様から多くの祝辞をいただきましたことを、シニアクラブとしても大変感謝しています。

ありがとうございます。

シニアクラブの年間活動としては、現役の例会、事業等への参加、シニアクラブ役員会、シニアクラブ総会、ボウリング大会、ゴルフ大会、忘年会などに1回程度は、何らかの活動をしており、現役メンバーとの親睦、交流を図っております。特筆すべきは、毎年、JC卒業20年の還暦を迎えるメンバーを祝う「盛人式」を行います。赤いちゃんちゃんこならぬ、真っ赤なベストを贈らせていただきますが、本年は、合わせて、赤い禪を飯沼俊雄先輩、鈴木宣先輩にきりりと締めていただきました。

本年度、中川剛理事長は、会員拡大50名を目標に、彼の多くのJC運動の

経験を生かした事業から、平均年齢34・7歳のメンバーとともに「まちづくり」「ひとづくり」を実践しております。年代こそ異なれど、シニアクラブも現役をサポートし、楽しみシニアクラブライフから地域の発展に寄与できればと思っております。最後に、誌面を通して、永年に渡り、市川JC事務局員としてLOMに無くてはならない宝である斎藤宏子さんへ感謝、お礼をさせていただきます。わがLOMのシニアクラブの紹介とします。全国の皆様、今後とも市川JCをよろしく願います。

日本JCシニア・クラブ

千葉ブロック担当幹事 北川善剛